

令和6年大口町教育委員会1月定例会議

令和6年1月23日

午前 9時30分 開 議

大口町中央公民館 2階 C会議室

議事日程

日程第1 教育長報告

日程第2 議事録署名者の指名

日程第3 連絡・報告事項

(1) 大口町教育委員会後援名義の使用許可の報告について

(2) 令和5年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について

日程第4 その他

出席者

教 育 長	長 屋 孝 成	教育長職務代理者	鈴 村 由布子
委 員	水 谷 恵 子	委 員	舟 橋 由 治
委 員	丹 羽 力 也		

説明のため出席した者

生涯教育部長兼 町史編さん室長兼 生涯学習課長	松 井 宏 之	学 校 教 育 課 長	三 輪 典 幸
学 校 教 育 課 長 補佐兼指導主事	實 松 大 祐	学校教育課長補佐	安 藤 智 子
学校給食センター 主 幹 兼 所 長	丹 羽 清 人	図 書 館 主 幹 兼 図 書 館 長	鈴 木 加代子

◎開会

○松井生涯教育部長兼町史編さん室長兼生涯学習課長 おはようございます。

定刻になりましたので、定例会を始めたいと思います。

舟橋委員が遅れてみえるという連絡がありましたのでご報告をさせていただきます。

本日の出席委員は現在3名であります。定足数に達しておりますので、これより令和6年大口町教育委員会1月定例会を始めさせていただきます。

なお、傍聴人はございません。

(午前 9時30分)

◎日程第1 教育長報告

○松井生涯教育部長兼町史編さん室長兼生涯学習課長 それでは日程第1、教育長報告をお願いいたします。

○長屋教育長 改めまして、おはようございます。

前回は12月21日でしたので、それ以降、本日までのことにつきまして報告させていただきます。

今年の年末年始につきましては大変穏やかな暖かい天気、委員の皆様もそれぞれ1年の安全・安心、平和を願って氏神様をお参りされたことだと思いますが、今年は本当に穏やかで、今年はいい1年が始まるかなあと思っていましたら、1月1日の4時ちょっと過ぎにこちら辺、私の家でも家の中にいて大きなというか揺れを感じ、早速テレビをつけてみたわけですが、能登半島を中心に大きな地震が発生したということが報道していました。アナウンサーが津波が発生したと、だからテレビを見ていないですぐに高いところへ逃げてくださいということを緊迫した声で何度も何度も叫んでいました。

また、次の日につきましても、夕方6時ぐらいだったと思いますが、羽田空港で着陸しようとしていた航空機と能登半島へ向かうという航空機とが衝突をしたというそんな報道がありました。幸いJALに乗っていた乗員乗客400名弱のところの方全員無事に脱出したということでしたが、日本中が地震、そして航空機事故ということで、本当に日本中が心を痛めた、そんな船出の年ではなかったかなあというふうに思っております。

私のほうとしましては、別件ですが、7日の日に毎年行われております成人の集いに参加をしました。今年も例年と同じように今年対象の新成人たちは、大変式の意義を理解しているのか、本当に落ち着いた雰囲気、式に参加をしていて、いい節目の年になったのではないかなということ 생각합니다。

また、9日の日には3学期始業式でしたが、短い年末年始を家族と共に過ごしたということ

で、学校へ行くの嫌だなというような子がおったかもしれませんが、無事に3学期が始まり、生徒たちが戻ってきました。

また、10日の日には、大谷選手より寄贈されたグローブを学校でどのように使っていくのかということで、たまたまですが大口南小学校と大口北小学校で活用している様子を映した記事が載っていて見られた方も多いかと思います。

それから、17日の日には、サポートルームさくらというのはもうここ何年か進めているわけですが、来年度、令和6年度に向けてどういうふうに進めていくかという体制について6名の講師の先生たちと話し合いました。現在サポートルームにつきましては、1年生18名、2年生8名、3年生5名が参加をしておりますが、そもそもは勉強がしたいけれども、なかなか家庭の事情で塾へ行けないというような子を対象にして開設したサポートルームですが、なかなかそううまくはいってなくて、落ち着いて勉強ができていく環境にあるという話も反省材料として上がっておりました。

それから、18日の日には東海理化のほうへ行ってきました。これは、3月の初めに小・中の連携、それから中1ギャップを何とかしないということ、小学校の児童が大口中学校に行くと中学生の勉強している様子とか部活動とか日常生活等について説明を受けて、夢と希望を持たせていくという、そういう会ではありますが、なかなか距離的にも遠いので、バス、運転手さんを協力いただけないかということをお願いに行ってきましたが、快くお引き受けいただきまして行うことができるということで大変感謝している会です。

それから、最後になりますが、大口西小学校の矢野原先生が今回新聞にも出ておりましたけれども、全国で優良教諭ということで文部大臣表彰を受賞されましたし、また大口中学校の渡邊教諭が研究論文ですばらしい内容だったということで、丹葉地方教育事務協議会長からの表彰がありましたので報告させていただきます。

それから、今、学校のほうで今日も連絡が来ましたが、大口北小学校のほう、インフルエンザがちょっとはやっております、1クラスにおいて給食を食べて早帰り、そして今週学級閉鎖というようなことであります。まだまだ大変寒い時期で各学校もインフルエンザ、コロナの対策に追われているという、こういう現状でございます。

報告につきましては、以上で終わります。

○松井生涯教育部長兼町史編さん室長兼生涯学習課長 ありがとうございます。

それでは、日程第2以降は教育長の取り回しをお願いいたします。

◎日程第2 議事録署名者の指名

○長屋教育長 それでは、日程第2、議事録署名者の指名を行います。

議事録署名者には、鈴木由布子教育長職務代理者と丹羽力也委員を指名しますので、よろしくお願いします。

◎日程第3 連絡・報告事項

○長屋教育長 本日の定例会につきましては、提出する議案がありませんので日程第3、連絡・報告事項に入ります。

1点目、大口町教育委員会後援名義使用許可の報告につきまして、事務局、説明をお願いします。

○三輪学校教育課長 それでは、(1)大口町教育委員会後援名義の使用許可の報告について説明をいたします。

前回の定例会以降、1事業について使用許可をいたしまして、4つの事業について実績報告がありました。

なお、使用許可した1事業及び実績報告がありました4事業につきましては、それぞれ資料のとおりとなっておりますので、御確認をいただければと思います。

説明は以上です。

○長屋教育長 ありがとうございます。

この案件につきましていかがですか。

よろしいですか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 ありがとうございます。

続きまして、次に令和5年度の要保護及び準要保護児童生徒の認定につきまして、事務局、お願いします。

○三輪学校教育課長 それでは、(2)令和5年度要保護及び準要保護児童生徒の認定についてです。

今回新たに認定いたしましたのは、一覧表、最下段右側にあります4番の追加認定者のとおりでありまして2名です。

また、児童扶養手当の喪失によりまして、西小学校で1名の認定を取消しいたしました。

これによりまして、準要保護児童生徒は南小学校で12人、北小学校で38人、西小学校で59人、小学校計といたしまして109人、中学校で62人、小・中合計で171人ということでございます。

説明は以上です。

○長屋教育長 ありがとうございます。

この件につきまして、何かありましたらお願いします。

よろしいですか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 ありがとうございます。

◎日程第4 その他

○長屋教育長 それでは、日程第4、その他ですが、事務局のほうから何かありましたら。

○三輪学校教育課長 特にございません。

○長屋教育長 それでは、委員さんのほうから何かございましたら。

どうぞ。

○鈴村教育長職務代理者 お伺いしたいことが何点かございまして、前にいろいろお伺いしたことがどのぐらい進展したのかなというのを聞きたいのが、まず中学校の部活動の外部コーチの制度といたしますか、そういうのは今どういう感じになっているんでしょうか。

○長屋教育長 事務局、いいですか。

○三輪学校教育課長 中学校の部活動の外部講師につきましては、現在、運動系の部活動5つになりますけれども、講師の派遣を行っております。スタート当時は3つの部活でしたが、令和4年度から5つになりまして、引き続き今年度も同様の内容で進めております。

○鈴村教育長職務代理者 その先を知りたくて、来年度以降どんな感じになっていくんでしょうか。

○三輪学校教育課長 来年度以降も引き続きこの外部講師はお願いをしております。部活の数については、同じく5つの部活動でというふうに進めていく予定にしております。

○鈴村教育長職務代理者 今、平日も土・日も入っている。

○三輪学校教育課長 そうですね。国としては休日のというふうには言われてはおりますけれども、やはりそこで休日だけに外部の指導者が入るということでは、指導の内容が変わってしまつては、子どもにとって一番よくないことになりますので、当初より平日、休日含めて外部講師に入っていていただいて技術指導をお願いをしております。

○鈴村教育長職務代理者 これ以上もう発展はしていかないんでしょうか。行く行くそっちに移行していくという流れになっていくんだなと思っていたんですけども。

○三輪学校教育課長 行く行くは、流れとしてはまた変わっていくとは思いますが、全て今ある部活動に対してどうにかしていかなくちゃいけないというのは慌ててやっていく必要はないとは思っておりますので、そこはじっくりと考えながら、中学校とも相談していかなければいけませんし、慌てることなく進めていきたいと思っております。

○鈴村教育長職務代理者 はい、分かりました。

○長屋教育長 今の件ですけど、最終的にはやっぱり私自身は中学校から部活を切り離してい

ないとあかんのじゃないかなと。国全体を見てもそういう動きにしようというのは感じるわけですが、しかし、なかなか難しい面、予算的な面ですね、これはなかなか難しくて、進めたくても進められない面があると思います。だけど、方向としては、やっぱりこれ以上の発展を止めてしまうわけではなくて、学校の先生方、本来的に授業に向かえるような環境づくりに努力していきたいなというふうに思っています。

○鈴村教育長職務代理者 それは、何年までにとかという目標は立てたりはしないんですか。

○長屋教育長 いや、国のほうも出しておったんだけども。

○鈴村教育長職務代理者 国は出していますよね。町としてはどうなんでしょう。そう言っているとこんな感じ、こんな感じと何かずるずるずるずると、あんまり現状とさほど変わらないのかなあという印象を受けるんですけども。

○長屋教育長 思い切ってばあっと全部というようなことがなかなか、金銭的な面だけでなくて人的な環境の面でもできにくい状態です。申し訳ないけれども、少しでも発展していくように努力したいなあとは思っています。

○鈴村教育長職務代理者 はい。

○長屋教育長 ほかにありましたら。

○鈴村教育長職務代理者 じゃあ、昨年ぐらいの保護者経費負担検討委員会のその後はどうなったんでしょうかという。

○三輪学校教育課長 以前お話をしたところから特に進展はしてはいないです。

○鈴村教育長職務代理者 はい。

あとコミュニティ・スクールについては、大口町はどのようにという、それも検討はない。

○長屋教育長 コミュニティ・スクールについては、文科省のほうでコミュニティ・スクールをつくれという指導といいますか、それは通知というのはずっと前からあるということは承知していますし、それから愛知県は、その中でもコミュニティ・スクールのところが大変少ないということも承知をしております。じゃあ大口町にないかという、よくよく組織を見ていきますとコミュニティ・スクールに準じたような過去からの組織がいろいろあって、そして今コミュニティ・スクールを新たに設ける必要があるのか、どんな価値を見いだしていくのかというのはよく見えないというのが現状で、コミュニティ・スクールに大口は進んでいくんだという、そういう雰囲気というのは高まっていないというふうに思っています。

事務局、何か付け足すことあったら、いいですか。

○三輪学校教育課長 特にはございませんけれども、今、教育長が言われたとおり、国が進めようとしているコミュニティ・スクールという形と今というか、これまで大口町が学校と関わってきた関係性、大口町のいろんな団体さんとかがこれまでも上手に学校と関わりながらいろん

な関係性を築き上げて活動をしていて、これからも恐らくそういう関係性は続くだろうとは思っていますけれども、それをコミュニティ・スクールという型にはめて行うということが必要なかどうかというところ、何か問題があるのであれば、それはまた当然検討はしなければいけないとは思いますが、今の段階で無理にコミュニティ・スクールという形を整えるのではなく、今の例えば地域協働本部の存在ですとか、地域自治組織の関係ですとかそういったもの、そういうところと上手に学校が連携をしていって、その中でいろいろな話合いが学校とその関係団体でされた中でいろんなことが進められていると思いますので、それはそれで無理やりその型にはめなくても、大口としての進め方というものをやっていってもいいのかなというふうには思っています。

○長屋教育長 いいですか。別件、ほかは。

○鈴木教育長職務代理者 あとは、ちょっと最近いろいろ新聞とか読んでいるのと、私は外国籍の子どもさんたちに関わっていることから気になったことなんですけれども、やっぱり外国籍の子だけで最初は見えていたんですね、やっぱりその子に合った学べるようなスタイルの何か学習スタイルになっていったらいいのかなあなんていう、その子に合わせたペース。

中学校の外国籍の子が取り出されている授業のお手伝いに入ったときに感じたのは、中学校は結構、小学校でもみんなで考えて学びましょうみたいな、みんなでこうやって考えて答えを出しましょうというときにすごく入っていきづらいという、例えばそんなような意見を聞いて、でも外国籍の子に限らず授業を学校訪問なんかで見ているとやっぱりぽつんという子、グループで席は並べているけれどもちょっと違う空気を持っている子とかいると、教室もたくさんあるし、でも先生の数はその間に、先生が暇をしているわけではないんだけど、TTなんかで分けたりもするように、何かもうちょっとその子のペースに合わせた学びが持てるような環境はあるので、そういった学習スタイルも少し教科によってというか、考えてあげたら過ごしやすくないかなというのを最近感じました。

○長屋教育長 ありがとうございます。

實松指導主事、今のどうですか。

○實松学校教育課長補佐兼指導主事 確かに、特別な支援を必要としている子が年々増えてきているというのはいろいろな調査とかでも分かっていますし、先生方とか学校側もそういう見方をしてきて、対応はしてきているところなので、環境としてはいろいろな方法があると思うんですね。個々によって対応の仕方が違ってくると思うので、タブレットも使い方によってはそういう個別の支援につながるだろうし、授業の在り方についても、一斉でというよりもグループ活動などを増やしながら先生がどのように回るかという現職教育などにも関わる部分もあったりするので、一概にこれがいいということがなかなか難しいと思います。それぞれ

がいろいろなことと関わりながら成長していく部分もあったりするので、個別に対応する部分と一斉で多くの子と関わりながら成長する部分というところで学校側もいろいろと工夫しながらやっていると思いますけど、やはり限られた職員の数でしか動かせられないところもありますので、先生方の見方とか、子どもをどう育てたらいいかという考え方とか、そういったところは、私たちが発信しながら研修などに取り入れながらやれる部分かなと思います。

○**鈴村教育長職務代理者** 外国籍の子は、今そうやってブリッジという教室があってちょっと逃げ場があるんですね。ちょっとそこで発散して、これが嫌だったよという場があって、通級とかはあるけど、中学校になるとあんまり通級に行かなくて、逆に中学校はまた別に教室に入れない子が使っていいよという部屋に行っている子もいるんだけれども、そこにも行けなくて教室で我慢している子もいっぱいいる。さらに見えていない。

小学校もこの子は通級とかはどうですかという話を、全然差し出がましいんですけどそういったのはどうですかという話を学校にすると、それもいっぱいいいねと、この子よりもっと気になる子はいっぱいいるんですという話を学校の先生にもお伺いして、とやっぱり人手不足なのかなあというのを痛感し、でも人手不足だからうーん、我慢してここでいてねというのかわいそうで、何とかならないのかなと思っているので今ちょっと発言させていただきました。

○**長屋教育長** ありがとうございます。

あと別件でもし何かあったら。

○**鈴村教育長職務代理者** 取りあえず大丈夫です。

○**長屋教育長** 水谷委員、何か。

○**水谷委員** 定例会の場所の話なんですけど、毎回言うとまた来年度考えます、来年度考えますというのがここ二、三回続いているので、各小・中学校で1回は定例会を行うということをぜひ来年は考えていただきたいです。コロナ禍の前に行っていたような形を取っていただけたと思います。

○**長屋教育長** ありがとうございます。

事務局、どうぞ。

○**三輪学校教育課長** 定例会を学校でというお話、来年度、時期はまだちょっとすみませんが、学校との調整があるので、いつぐらいということは申し上げることはできませんけれども、全部の学校ができるのかというのはちょっと分からないので、それもなかなか難しいんですが、少し学校と相談しながら、その時期的な、学校行事やいろいろとあるので、それを踏まえた中でやれるようにしていきたいというふうには思っております。

○**水谷委員** 前向きによりしくお願いします。

○長屋教育長 丹羽委員、何かもしあれば。

○丹羽委員 大丈夫です。

○長屋教育長 舟橋委員、いいですか。

○舟橋委員 はい。

○長屋教育長 ありがとうございました。

なかなか貴重な御意見をいただいたと思っておりますので、それを踏まえて、またできるところから手をつけたいと思います。ありがとうございました。

あとないようですので、協議・連絡事項を終わりにして、事務局のほうへお返しします。

○松井生涯教育部長兼町史編さん室長兼生涯学習課長 ありがとうございました。

それでは、会の最後に教育長、一言あればよろしく願いいたします。

○長屋教育長 本当にインフルエンザ、コロナがはやっておりますので十分御注意いただいて、御自愛いただきたいなあということと、それからとりわけ明日、あさってにかけて日本列島、今冬最大の寒波が襲ってくるようで、こちら辺も雪がひょっとして降るかもしれませんので、交通安全には十分御注意いただき、御活躍いただきたいと思います。ありがとうございました。

○松井生涯教育部長兼町史編さん室長兼生涯学習課長 ありがとうございました。

以上をもちまして1月の大口町教育委員会定例会を終わりたいと思います。お疲れさまでした。

(午前10時03分)

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

委 員

委 員